



YoBELL Watch

“ヨベルウォッチ”

品番

腕時計端末 ... TSW-2125
送信器..... TSW-P125
データ転送器 .. TSW-T125
中継器..... TSW-C125

この度は **TRUSCO** ヨベルウォッチをお買い上げいただき誠にありがとうございます。 **取扱説明書**
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
また、お読みになった後は大切に保管し、必要な時にお読みください。



腕時計端末
TSW-2125



送信器
TSW-P125



データ転送器
TSW-T125



中継器
TSW-C125

送信器や腕時計端末から メッセージを送信できる 簡易相互連絡ツール。

- 振動するから音が聞こえなくても見逃さない
- 「何かが」ではなく「何が」起きたかを知らせる
- 通知に対してメッセージで応答ができる
- 対応者が分かるので非効率な動きが減る
- 交信内容の見える化が作業改善に繋がる

製造現場の
機械・装置の
稼働管理に

倉庫内
スタッフの
相互連絡に

防犯ゲート
等に接続して
防犯・警備に

使用上のご注意.....	P2
ヨベルウォッチシステムの概要	P3
ご使用までの手順	P3
仕様・各部の名称	P4～P6
充電方法	P6

腕時計端末設定画面の操作方法	P7
初期設定(設定ソフトの操作方法)	P8,P9
使用方法	P10～P13
データ転送ソフトの使用方法	P14,P15

●安全上のご注意

- ・送信器、中継器、充電器に接続するACアダプタは、ゆるみがないようしっかりと差し込んでください。差込みが不十分だと発火・故障・感電・火災の原因となります。
- ・高温になる場所(火のそば、ストーブのそば、炎天下など)での使用や放置はしないでください。発火・破裂・故障・火災の原因となります。
- ・電子レンジや高圧容器などの中に入れてください。発火・破裂・故障・火災の原因となります。
- ・火の中に投入したり、加熱したりしないでください。発火・破裂・故障・火災の原因となります。
- ・お客様による分解や改造・修理をしないでください。発火・故障・感電・傷害の原因となります。
- ・腕時計端末の異常(高温、膨れ等)に気付いたら速やかに使用を中止してください。異常状態で使用を継続すると怪我や事故の原因となり非常に危険です。
- ・腕時計端末が濡れた状態で充電しないでください。感電や故障・火災の原因となります。水濡れ時の充電による故障は、保証対象外となります。
- ・送信器、中継器は、長時間ご使用にならない場合は、安全のためACアダプタをコンセントから抜き取ってください。電池をご使用の場合は電池を抜き取ってください。漏電や漏液、故障の原因となります。
- ・送信器や中継器の配線は首や手足にからまないように設置、固定してください。思わぬ怪我を負うことがあります。

●充電について

- ・初めてお使いになるときや長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に充電してください。(充電中、本体が温かくなることがありますが、異常ではありません。)
- ・腕時計端末のリチウムイオン電池は、ご使用前に2〜3回程度充放電を繰り返すことで、電池が活性化されて安定して動作する場合があります。
- ・充電には専用の充電器以外は使用しないでください。
- ・充電器の銘版に明記されている電圧でのみご使用ください。充電不足や過充電を引き起こす可能性があります。
- ・充電器や充電コードが破損している場合、使用しないでください。ショートや火災の原因となります。
- ・長期間(一週間以上)使用しない時は、充電器から腕時計端末を取り外してください。
- ・1ヶ月に一度は充電(50%程度)してください。※電池は深放電状態(0%)での放置により劣化を招きます。
- ・腕時計端末は充電器に正しく接続してください。接続が不十分な場合は接触不良でショートしたり、機器が作動しないことがあります。

●取扱上のお願ひ

- ・腕時計端末は完全防水ではありません。本体内部に浸水させたり、雨の中や水滴がついたままでの操作は行わないでください。水が浸入して内部が腐食する原因となります。これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となります。
- ・送信器、中継器、データ転送器、充電器に水をかけたりしないでください。防水機能を有していません。
- ・送信器やデータ転送器、中継器は屋外や風呂場など水のかかる場所には取り付けしないでください。またドアや引き戸などの振動する場所に取り付けしないでください。落下による怪我や製品故障の原因となります。
- ・極端な高温・低温・多湿はお避けください。動作温度の範囲内でご使用ください。
- ・汚れた場合は柔らかい布で乾拭きしてください。ベンジン・シンナー・アルコール・洗剤などを用いると、外装や文字が変質するおそれがありますので使用しないでください。また、ほこりなどが付着した場合には、柔らかい布などで軽く拭き取ってからご使用ください。
- ・腕時計端末の液晶画面には、一部に点灯しないドット(点)や常時点灯するドットが存在する場合があります。故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- ・寒い屋外から急に暖かい室内に移動した場合や、湿度の高い場所、エアコンの吹き出し口の近くなど湿度が急に変化するような場所で使用された場合、腕時計型端末内部で結露するおそれがあります。腐食や故障の原因となりますのでご注意ください。
- ・液晶画面やボタンの表面に爪や固いものを強く押し付けしないでください。傷や破損の原因となります。
- ・液晶画面を拭くときは柔らかい布で乾拭きしてください。ガラスクリーナーなどを使うと故障の原因となります。
- ・腕時計端末、送信器、データ転送器、中継器を改造することは電波法で禁止されています。

●電波について

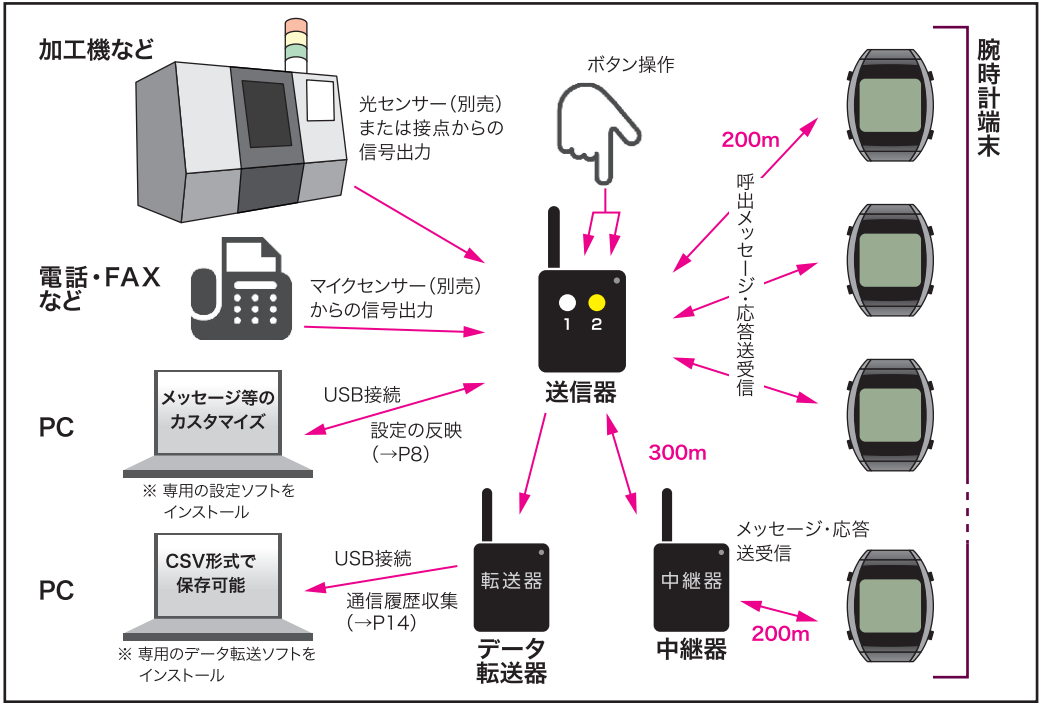
- ・腕時計端末、送信器、データ転送器、中継器をパソコンやプリンタなどのOA機器やテレビ、電子レンジ、冷蔵庫などの家庭用電化製品の近くで使用した場合、電波の到達距離が短くなる場合があります。
- ・電波の到達距離は電波の進行を妨害する鉄筋、コンクリート、断熱材、防火ガラスなどの使用状況によって短くなる場合があります。

●日常のお手入れ

- ・ケースやバンドに付着した水や汗は袖口を汚したり、かぶれる原因になることがありますので、柔らかい布などで拭きとってください。
- ・清掃には洗剤を使用しないでください。ケースやバンドが変質することがあります。
- ・腕時計端末の充電端子が汚れた場合は、綿棒などの柔らかい突起物でやさしく拭きとってください。充電器の充電端子が汚れた場合は、柔らかい布などでやさしく拭きとってください。

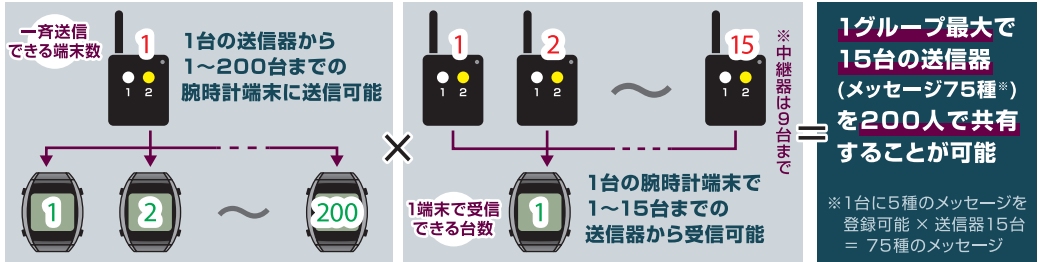
■ヨベルウォッチでできること

送信器は、各種センサーからの信号入力やボタン操作によって、呼出メッセージを腕時計端末に送信することができます。
腕時計端末を着用した作業者は、受信したメッセージに対する応答や、予め設定した呼出メッセージを送信することができます。

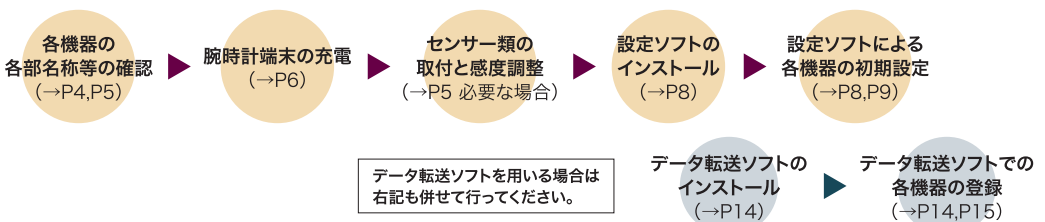


■無線通信可能最大数

「ヨベルウォッチ」の腕時計端末と送信器は、それぞれ無線通信にて下記を上限として複数台とメッセージの送受信をすることができます。



ご使用までの手順



仕様

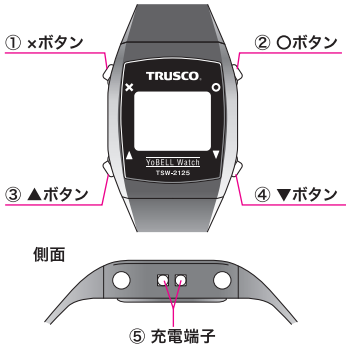
	腕時計端末 TSW-2125	送信器 TSW-P125	データ転送器 TSW-T125	中継器 TSW-C125	充電器 TSC-1140
使用電波	429MHz帯				—
送信出力	特定小電力10mW				—
通信距離(見通し)	200m	200～300m	—	200～300m	—
使用電源	リチウムイオン電池 3.7V	AC100V・DC5V アダプタ または 単4電池 2本			AC100V・DC5V アダプタ
定格電流	150mA MAX	50mA MAX			70mA MAX
外形寸法 (mm)	43×38×16	85×62×24(アンテナ、突起部を除く)			84×46×31
質量(g)	約45	約75			約60
動作温度	-10℃ ～ +50℃				
JIS保護等級	IPx5				
付属品	—	専用ACアダプタ、USBケーブル 設定ソフトCD-R、取扱説明書	専用ACアダプタ、 USBケーブル	専用ACアダプタ	

腕時計端末、送信器、データ転送器、中継器は、電波法に基づく特定小電力無線局の技術基準適合証明を取得していますので、無線局の免許申請は不要です。したがって次のことを厳守してください。

- 製品に付いているラベルは、技術基準適合証明の印です。絶対にはがさないでください。
- ラベルの付いている製品を分解したり、改造して使用することはできません。
- 不法に改造して使用すると、法律により罰せられます。

各部の名称

腕時計端末



- xボタン** 設定画面に入るときや、手前の画面に戻るときに使用します。メッセージ受信時は、未対応扱いにする(→P11)ボタンとして使用します。3秒以上の長押しでスリープ画面と通常画面^{※1}を切り替えられます。
 - Oボタン** 各種設定を開始するときや、決定をしたいときに使用します。メッセージ受信時^{※2}や未対応処理時は、応答ボタンとして使用します。通常画面で2秒長押しすると、電波受信チェックができます。
 - ▲ボタン** 通常画面で2秒長押しすると、呼出1(ユーザーが登録したメッセージ1)の送信を問う画面^{※3}に移ります。(→P13)設定画面を遷移させるときや^{※4}や数値を進めるときにも使用します。
 - ▼ボタン** 通常画面で2秒長押しすると、呼出2(ユーザーが登録したメッセージ2)の送信を問う画面に移ります。設定画面を遷移させるときや数値を戻すときにも使用します。
 - 充電端子** 腕時計端末を充電するための端子です。充電には専用の充電器を使用します。(→P6)
- ディスプレイバックライトは、ボタン操作時、メッセージ受信時、アラーム作動時に点灯。

※1 通常画面(端末名称の設定→P8,P9)



※2 メッセージ受信時



※3 呼出送信確認画面



アイコン説明

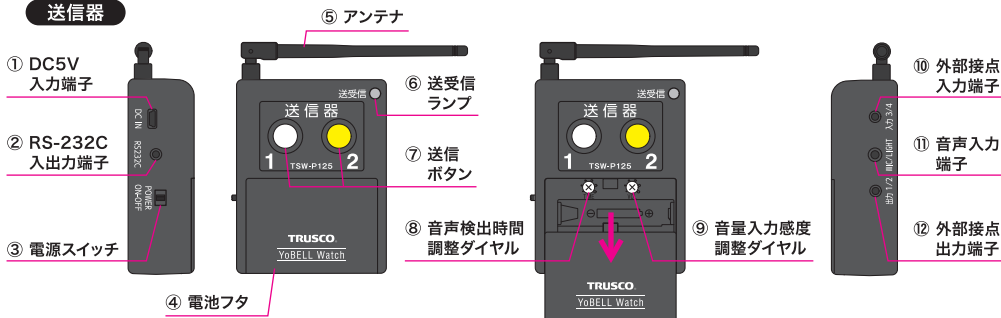
- 送受信アイコン:** 無線通信時に表示
- アラームアイコン:** アラーム1~3がいずれかONのとき表示
- サウンドアイコン:** サウンドON設定のとき表示

※4 設定画面の遷移 (▲ボタンにて操作した場合。▼ボタンで操作すると逆順で遷移します。xボタンで通常画面に戻ります。)



(時刻設定に戻る)

送信器



① DC5V入力端子(USB ミニBコネクタ)

付属の専用ACアダプタを接続します。
USB接続にてPCからの電源供給や、設定時の通信も行えます。

② RS-232C入出力端子(φ3.5ステレオミニジャック)

PCとRS-232C接続にて設定時の通信が行えます。※要ご相談

③ 電源スイッチ

ご使用時は電源スイッチをON(上側)にしてください。

④ 電池フタ

電池交換時や調整ダイヤル操作時に、スライドさせて開閉します。

⑤ アンテナ

地面から垂直もしくは45°程度に傾けてお使いください。

⑥ 送受信ランプ

電波の送信時に約0.5秒間緑色に点灯、
受信時に0.5秒間オレンジ色に点灯します。

⑦ 送信ボタン

ユーザーが登録した呼出メッセージの送信を行うためのボタンです。

⑧ 音声検出時間調整ダイヤル・⑨ 音量入力感度調整ダイヤル

外部音声の検出時間と入力感度を調整することにより、誤作動を抑止できます。
検出が可能な限り、ダイヤルを左に回し感度を低くします。

⑩ 外部接点入力端子(φ2.5ステレオスーパーミニジャック)

専用の外部入力コードを接続します。1接点入力と2接点入力に対応します。

⑪ 音声入力端子(φ3.5モノラルミニジャック)

それぞれ専用の外部入力コードを接続します。
オプションの平型マイクセンサー、光センサー入力に対応します。

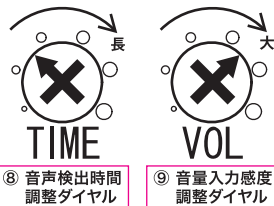
⑫ 外部接点出力端子(φ2.5ステレオスーパーミニジャック)

専用の外部出力ケーブルを接続します。最大2接点出力に対応します。
出力は外部入力、押しボタンスイッチ、音声入力のいずれかと連動させて出力
させることができます。※要ご相談

●ダイヤル調整方法

1. あらかじめ送信ボタンを押して、送受信ランプが点灯する状態であることを確認してください。
2. ダイヤルを左に回して止まる箇所が最低感度になります。右に回して止まる箇所が最高感度になります。マイクセンサー等を取り付ける際は、ドライバーを用いて両ダイヤルを右端(高感度状態)から少しずつ左に(低感度状態)に回し、平型マイクセンサーや光センサーが反応するかテストしてください。
3. 音声検出時間調整ダイヤルのテストを行い、できるだけ低い感度にします。
4. 同様に音量入力感度調整ダイヤルのテストを行い、できるだけ低い感度にします。

できるだけ低い感度になるように調整することで、周囲の音や光による誤作動を防ぎます。



●基本的な動作と電源

送信ボタンを押したとき → 送受信ランプが約0.5秒間点灯し、呼出メッセージを送信します。

音声入力端子に接続された平型マイクセンサーや光センサーが反応したとき → 送受信ランプが約0.5秒間点灯し、呼出メッセージを送信します。

外部接点入力端子に接続した接点入力コードから接点信号が入力されたとき → 送受信ランプが約0.5秒間点灯し、呼出メッセージを送信します。

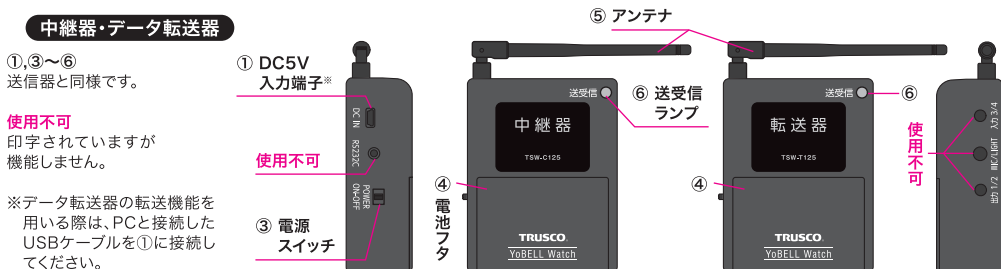
・単四電池2本(アルカリまたはニッケル水素)もしくはACアダプタで動作します。併用した場合はACアダプタからの電源が優先されます。

(アルカリ電池を長時間ご使用にならない時は電池を取り外してください。)

※電池で使用する場合、送信ボタンを押して送受信ランプが点滅しなければ電池切れです。アルカリ電池の場合は交換してください。

ニッケル水素電池の場合は、ACアダプタに接続されている送信器に入れておくことで充電できます。

中継器・データ転送器

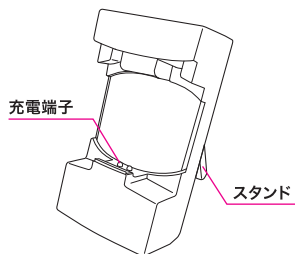


①, ③～⑥
送信器と同様です。

使用不可
印字されていますが
機能しません。

※データ転送器の転送機能を用いる際は、PCと接続したUSBケーブルを①に接続してください。

充電器



- ・ACアダプタのプラグを充電器に差し込む時は、プラグの形と充電器側のジャックの形を正しく合わせて挿入してください。
- ・充電時は必ずスタンドを立ててご使用ください。

充電方法

お買い上げ時には、電池は十分に充電されていません。初めてお使いになるときや電池残量が少なくなったとき、「**要充電**」の文字が表示されたときに、充電してご使用ください。

- ・腕時計端末の充電端子の向きをよく確認してから充電してください。
- ・腕時計端末を充電器にしっかり装着してください。しっかり装着されていないと、充電が途中で切れる可能性があります。
- ・腕時計端末が水に濡れた状態で充電しないでください。感電や故障・火災の原因となります。水濡れ時の充電による故障は、保証対象外となります。

●充電時の電池寿命

満充電の場合、1日5～6回の受信で約4日程度です。

腕時計端末に内蔵されている充電電池は消耗品です。満充電でのご使用可能時間が極端に短くなったら充電電池の交換時期です。当社または販売店にご依頼ください。お客様ご自身では電池交換は行わないでください。

●腕時計端末の充電方法

充電端子と腕時計端末の端子が
しっかり接触するようにセットする



図1

図2

充電器の充電端子

【図1、図2】腕時計端末左側の端子部分を充電器の充電端子に合わせて本体を押し入れます。

注意:充電中は呼出メッセージを受信できません。

図3

【図3】腕時計端末の液晶画面に「充電中」の文字が表示され充電が開始されます。

●充電時の画面表示

- ・通常画面の状態から充電を行うと「充電中」の文字を表示します。スリープ状態で充電を開始するとスリープから復帰(通常画面に切り替わり)して、その後「充電中」の文字が表示されます。(表示まで数秒かかります。)
- ・充電は約3時間で完了します。充電完了時または充電器からの取り外し時は自動的にスリープ状態になります。△ボタンを長押し(3秒以上)すると通常画面に戻ります。
- ・充電中は、ブザーとバイブレーションは停止し、バックライトは消灯します。

●充電器取り扱いのご注意

- ・腕時計端末と充電器の端子にゴミや汚れ等が付きますと充電しにくくなる場合がありますので、柔らかい布などできれいにふき取ってから充電してください。充電器端子を掃除する場合は、念のため電源コードを抜いてから行ってください。

充電中の操作

充電中に○ボタンと▼ボタンを同時押しすると、履歴や時刻がリセットされます。

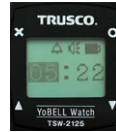


充電中に全ボタンを同時に長押しすると、ソフトウェアがリセットされて工場出荷時状態に戻ります。

時刻設定



○ボタンを押すごとに
 「時」点減 → 「分」点減 → 「時刻設定」
 の順に画面が切り替わります。
 時刻は「時」「分」ともに▲と▼のボタンで増減できます。



「時」点減



「分」点減

アラーム設定



○ボタンを押すごとに
 アラーム選択 → 「時」点減 → 「分」点減 → アラームON/OFF切替 → 「アラーム設定」
 の順に画面が切り替わります。
 アラーム時刻数値の増減や、アラーム番号の選択、アラームのON/OFFは▲と▼のボタンで行えます。
 工場出荷時は全てOFFになっています。
 アラームONのときは画面上部に🔔のアイコンが表示されます。



アラーム選択

サウンド設定



○ボタンを押すごとに
 サウンドON/OFF切替 → 「サウンド設定」
 が交互に切り替わります。
 サウンドのON/OFFは▲と▼のボタンで行えます。
 工場出荷時はOFFになっています。
 サウンドONのときは画面上部に🔊のアイコンが表示されます。



ON/OFF切替

グループ確認



○ボタンを押すとグループを確認できます。確認後は×ボタンで左記の画面に戻ります。
 ヨベルウォッチシステムでは、設定ソフトにてA～Oの15グループから必ずいずれか1つ、
 グループを選択する必要があります。(→P8,P9)
 なお、設定ソフト上ではグループ(A～O)とともに任意でグループ名を設定できますが、
 グループ名は設定ソフト内のみで有効なため、腕時計端末には表示されません。
 予めご了承ください。



グループ表示例

バージョン確認



○ボタンを押すとバージョンを確認できます。×ボタンで左記の画面に戻ります。
 ① バージョン表示 (V+数字4桁) 時に▼のボタンを操作すると
 GID表示 (数字4桁×4) 1 → RID表示 (RID+数字4桁) → バージョン表示
 の順に画面が切り替わります。▲ボタンを操作した場合は、逆順で遷移します。
 ② GID表示1の時に○ボタンを押すと、
 GID表示2 → GID表示3 → GID表示4 → GID表示1
 の順に画面が切り替わります。

バージョンおよびGIDは、サポート時に必要な情報です。通常、ユーザー様が確認する必要はありません。
 RIDはデータ転送ソフトを用いたときに正しく認識されているか確認が必要な場合にのみ用いる情報です。

呼出秒設定



○ボタンを押すと、メッセージ受信時のブザーおよびバイブレーションの鳴動秒数*の設定画面に移ります。
 鳴動秒数は01～30秒までの1秒単位と「自動停止無」の設定が可能です。
 ▲ボタンで+1秒、▼ボタンで-1秒です。(秒設定時は数値が点滅、「自動停止無」設定時は文字が点灯します。)
 鳴動秒数を新たに設定したうえで左記画面に戻るときは○ボタンを、変更せずに左記画面に戻るときは×ボタンを押してください。

※メッセージ受信時に、設定した時間内に応答を行わないと「未対応」として扱われます。

書換モード



○ボタンを押すと、「書換待機中」の表示に移ります。(書換待機画面)
 設定ソフトで腕時計端末の各種設定を呼び出したり更新を行うときには、必ず書換待機画面を表示させた状態で設定ソフトを起動させてください。
 ○ボタンまたは×ボタンで左記の画面に戻ります。



書換待機画面

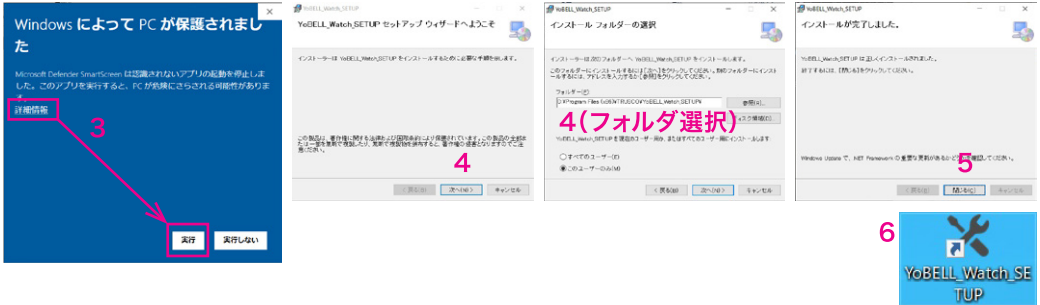
■設定ソフトのインストール

●ソフトの動作条件

OS: Windows10 (64bit) ディスプレイ解像度: 1280×800ppi以上

●設定ソフトのインストール手順

1. インストールCDをPCのCDドライブにセットします。
2. エクスプローラーからCDドライブ内の「YoBELL_Watch_SETUP.msi」をダブルクリックします。
3. WindowsによるPCの保護が働いた場合、「詳細情報」をクリック→出現した「実行」をクリックしてください。
4. ようこそ画面「セットアップウィザード」が展開されますので、「次へ」ボタンをクリックし、インストールするフォルダを選択してください。
5. インストールが開始され、完了すると「インストールの完了画面」が表示されます。
6. デスクトップにショートカットが表示され、インストールは完了となります。



■それぞれの機器の設定

設定ソフトを用いて腕時計端末や送信器などの設定を行います。本項に記す内容は、初期設定時の他、設定変更を行う際にもご参照ください。

必ずご確認ください

ヨベルウォッチの腕時計端末・送信器・中継器・データ転送器は、混線防止のため0～39のCh(チャンネル)から選択できます。

(デフォルトは「Ch2」)

Chを変更する場合には必ず各Chごとに **先: 腕時計端末の設定** → **後: 送信器/中継器/データ転送器設定** の順に行ってください。

【腕時計端末の設定手順】

- ① 腕時計端末の設定を行う場合は「書換モード」→「書換待機中」画面にする。(P7参照)
書換待機中の腕時計端末と通信させる(同じChで運用する)送信器をUSB[※]にてPCと接続して電源を入れる。※電源入力端子を使用する。
デスクトップ上のショートカットをダブルクリックして設定ソフトを起動する。

以下、P9画像「設定ソフト画面」内に振った番号に沿って説明しています。

- ② 「腕時計端末 設定」をクリック。
- ③ 「接続」をクリック。待機中の端末と(送信器を介して)通信が始まります。
- ④ Chを変更する場合には□にチェックを入れたうえで▼をクリックして0～39を選択。(混線のおそれがある場合にのみ変更してください。)
- ⑤ グループの▼をクリックしてA～Oを選択。必要に応じて任意のグループ名を設定できます。
※グループ名称はソフト内でのみ管理されている情報であり、端末に反映される情報ではありません。(送信器等も同様です。
端末に反映されるのはA～Oのアルファベットのみです。
※同Chかつ同グループの端末同士だけが呼出メッセージ等を送受信できます。
Chが同一でもグループが異なる場合(またはその逆の場合)は呼出メッセージ等の送受信はできません。
- ⑥ グループ内で「○〇台目」の腕時計端末に設定するかを▼をクリックして1～200から選択。
- ⑦ 任意の端末名称を付けることができます。当該端末から送信される呼出メッセージの内容を編集できます。
また、右側の応答設定にて不要を選択すると、当該呼出メッセージの受信者は応答が不要になります。
- ⑧ 端末に設定したい内容を入力し終わったら「書込・保存」をクリック。書込みが完了するとPC画面にその旨が表示されます。
完了後は腕時計端末のOボタンまたはXボタンを操作して「書換待機中」の状態を解除してください。

続いて他の腕時計端末の設定を行う場合は、「書換待機中」の状態にして③からの操作を行ってください。

[送信器等の設定手順]

基本的な流れは腕時計端末の設定と同様です。

- ⑨ 「送信器/中継器/転送器 設定」をクリック。
- ⑩ 「接続」左の ☒ から機器の種類を選択して「接続」をクリック。
- ⑪⑫ 通信を行いたい腕時計端末の設定④や⑤に合わせて選択してください。
- ⑬ グループ内で“〇〇台目”の送信器(または中継器)に設定するかを ☒ をクリックして1～15(中継器は1～9)から選択。
※転送器設定では変更できない項目です。
- ⑭ 腕時計端末の設定⑦と同様に設定できます。※中継器および転送器では名称のみ変更可能です。
- ⑮ 送信器等に設定したい内容を入力し終わったら「書込・保存」をクリック。書込みが完了するとPC画面にその旨が表示されます。
完了後は送信器等の電源を切ってPCから外してください。
続けて他の送信器等の設定を行う場合は、PCにUSB接続して⑩からの操作を行ってください。
- ⑯ 全ての設定が終わりましたら「終了」をクリックして設定ソフトを閉じてください。

[その他]

- ⑰ 簡易説明画面が別ウィンドウで立ち上がります。弊社Webサイト上で公開されている本紙PDFデータへのリンクも付いています。
- ⑱ 設定画面に表示されている内容を消去します。③または⑩の「接続」をクリックすると編集前の情報呼び出すことができます。
※⑧または⑮をクリックしないかぎり、端末には反映されません。
- ⑲ データ転送ソフトはP14,15にて解説しています。ご参照ください。

▼設定ソフト画面

TRUSCO YoBELL Watch Ch設定 2 ? グループ グループ名称

⑨ 送信器/中継器/転送器 設定
PCとUSBで接続して設定してください

⑩ ☒ 接続 **⑭**

⑬ 台目 名称 全角5文字 半角10文字 (全/半混在可)

呼び出し文字登録

上段 / 下段 応答設定

ボタン1 要 ☒ 不要 ☐

ボタン2 要 ☒ 不要 ☐

接点1入力 要 ☒ 不要 ☐

接点2入力 要 ☒ 不要 ☐

音光センサ 要 ☒ 不要 ☐

上下段全角5文字 半角10文字 (全/半混在可)

② 腕時計端末 設定
腕時計設定で書換モードにしてから設定してください

③ 台目 名称 **⑦** 全角5文字 半角10文字 (全/半混在可)

⑥ 呼び出し文字登録

上段 / 下段 応答設定

○ 対応中 要 ☐ 不要 ☒

▲ **⑦** 要 ☐ 不要 ☒

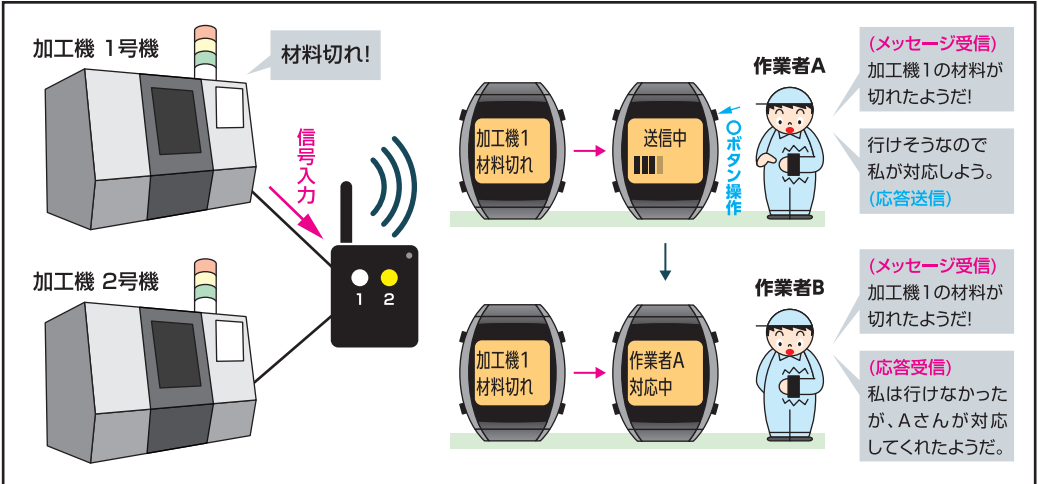
▼ 上下段全角5文字 半角10文字 (全/半混在可)

書込・保存 **⑧** **⑮** 使い方説明 **⑰**

クリア **⑱** データ転送ソフト **⑲** 終了 **⑯**

■使用例1. 送信器への信号入力による自動呼出

送信器を自動加工機に接続することで、作業者は加工機から離れていても材料切れやトラブルにいち早く気づくことができます。



使用例1のように動作させるための設定

加工機と送信器の接続 → 無電圧a接点入力

送信器右側面上部の外部接点入力端子 (P5⑩) 使用

送信器の呼出メッセージ設定 → 接点1入力：(上段) 加工機1 / (下段) 材料切れ / (応答設定) 要
接点2入力：(上段) 加工機2 / (下段) 材料切れ / (応答設定) 要

腕時計端末の応答メッセージ設定 → ○ボタン：(上段) 作業者A / (下段・固定メッセージ) 対応中

設定ソフト(送信器/中継器/転送器 設定)画面

台目	名称	上段	下段	応答設定
ボタン1				要 ○ 不要 ○
ボタン2				要 ○ 不要 ○
接点1入力		加工機1	材料切れ	要 ○ 不要 ○
接点2入力		加工機2	材料切れ	要 ○ 不要 ○
音 光センサ				要 ○ 不要 ○

設定ソフト(腕時計端末 設定)画面

台目	名称	上段	下段	応答設定
○		作業者A	対応中	要 ○ 不要 ○
▲				要 ○ 不要 ○
▼				要 ○ 不要 ○

上段主角5文字 半角10文字 (全/半置在可)

■メッセージ受信時の操作方法

腕時計端末が呼出メッセージを受信すると、バックライトが点灯しブザーとバイブレーションが鳴動します。
点灯と鳴動は設定した呼出秒を経過するまで続きます。(P7・6項目参照)
呼出中に○ボタンを操作すると、「○○○○ 対応中」という応答メッセージを送ることができます。(P10・作業者Aの操作参照)
応答メッセージの送信を開始するとブザー・バイブレーションの鳴動が止まります。

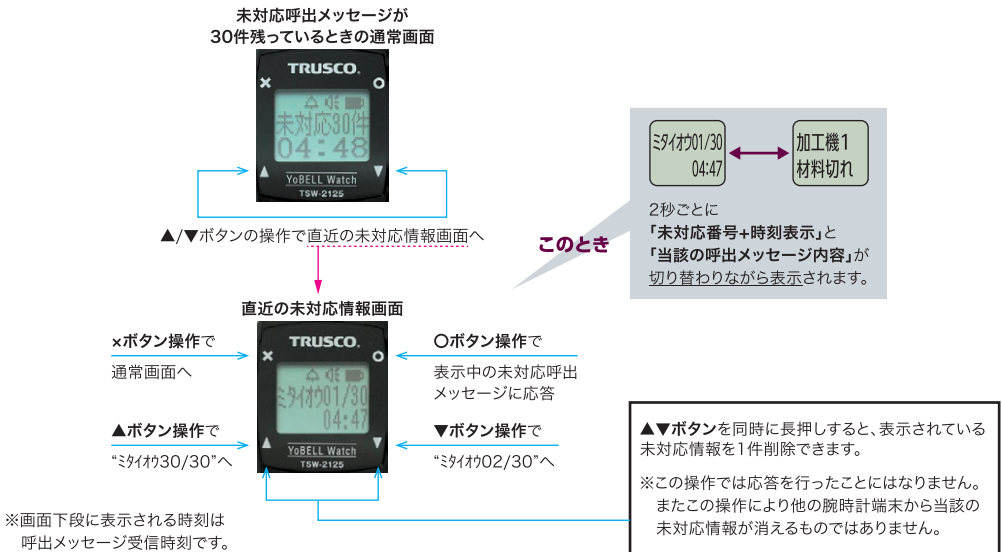
他の腕時計端末からの応答メッセージ受信時は○ボタンで通常画面に戻ることができます。

応答しないまま呼出秒を経過したときは、「未対応00件」という表示に切り替わります。
また、呼出中に×ボタンを操作すると、手動で未対応扱いにすることができます。このときも「未対応00件」という表示に切り替わります。



■未対応メッセージの処理方法

「未対応」の呼出メッセージはその情報が腕時計端末に残り、通常画面上段に「未対応00件」と表示されます(最大30件)。
他の腕時計端末で未対応メッセージの処理が行われると自動的に件数が減ります。

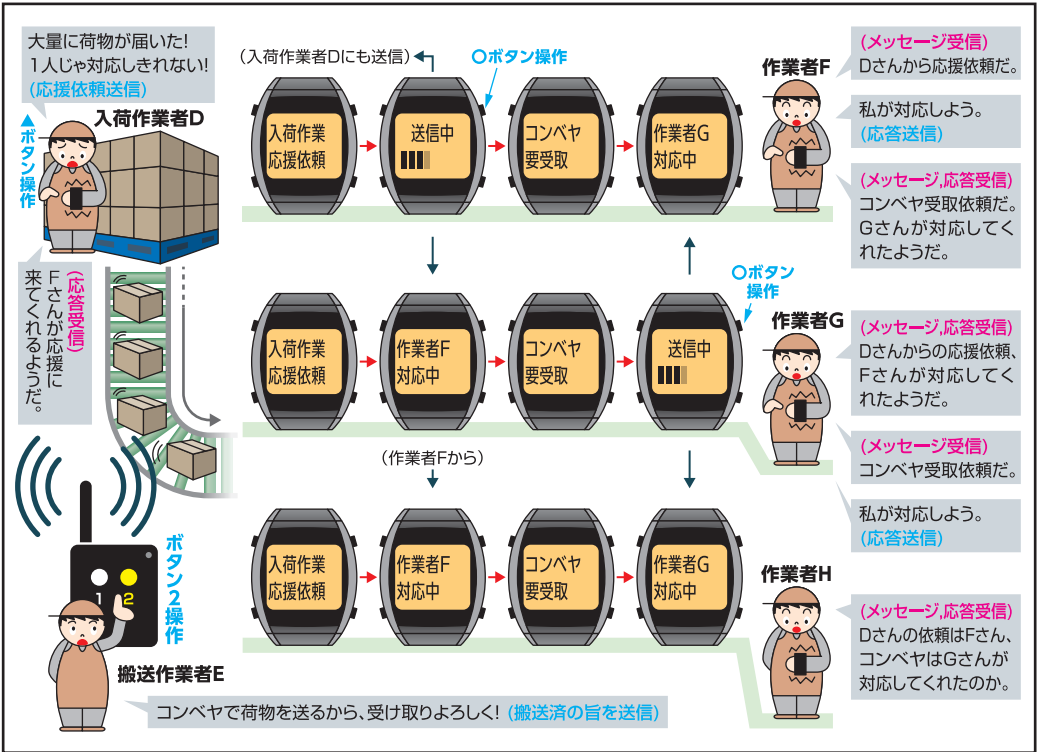


上記解説は、設定ソフトにて呼出メッセージの応答設定を「要」にした場合です。
応答「不要」に設定されている呼出メッセージを受信したときは

- ・各受信者の○ボタンまたは×ボタン操作をもって確認完了と見なされます。
- ・設定された呼出秒を超えた場合は未対応扱いとなります。
- ・腕時計端末の未対応リストで当該メッセージを選択し、○ボタンを操作することで確認完了とみなされ、未対応情報から削除されます。
(未対応情報が削除されるのは、確認を行った受信者の腕時計端末のみです。)

■使用例2. 作業者による手動でのメッセージ送信

腕時計端末を用いてグループ内にメッセージを送信することも可能です。手助けが欲しい作業者Dは腕時計端末から応援依頼を(無線で送信器を介して)送信。コンベヤで荷物を送った作業者Eは送信器を操作してコンベヤからの荷物受取依頼を送信。受信した作業者F,G,Hのうち、対応できる作業者がそれぞれ応答…と、スタッフ間でコミュニケーションをとることができます。



使用例2のように動作させるための設定

送信器の呼出メッセージ設定 → ボタン2 : (上段) **コンベヤ** / (下段) **要受取** / (応答設定) **要**

腕時計端末(D)の呼出メッセージ設定 → ▲ボタン : (上段) **入荷作業** / (下段) **応援依頼** / (応答設定) **要**

※腕時計端末(作業者F,G,H)の応答メッセージ設定はP10の設定と同様に作業者名を入力。

設定ソフト(送信器/中継器/転送器 設定)画面

台目	名称	上段	下段	応答設定
ボタン1				要 ○ 不要 ○
ボタン2	コンベヤ	要受取		要 ○ 不要 ○
地点1入力				要 ○ 不要 ○
地点2入力				要 ○ 不要 ○
光センサー				要 ○ 不要 ○

設定ソフト(腕時計端末 設定)画面

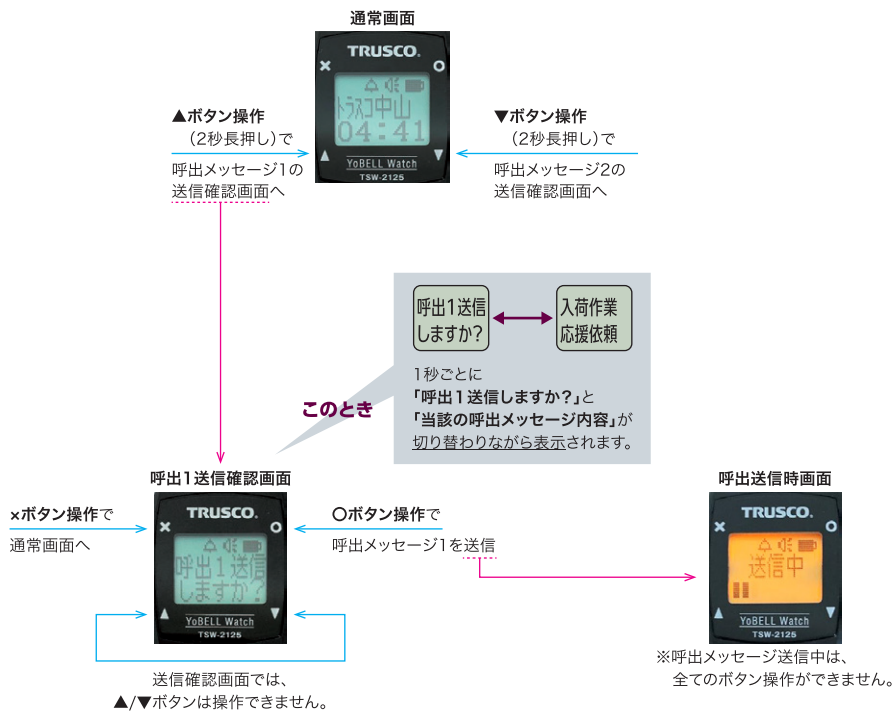
台目	名称	上段	下段	応答設定
▲		入荷作業	応援依頼	要 ○ 不要 ○
▼				要 ○ 不要 ○

■腕時計端末からの呼出メッセージ送信方法

通常画面のときに▲ボタンまたは▼ボタンを長押しすることによって、呼出メッセージを送信できます。(P12・入荷作業者Dの操作参照)

▲ボタンまたは▼ボタンを長押しすると呼出メッセージ送信確認画面に変わります。

○ボタンを操作することによって送信が行われます。

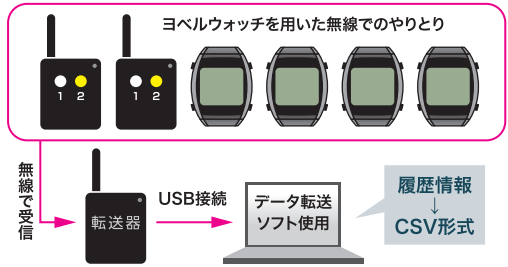


■データ転送ソフトについて

データ転送ソフトは、送信器と腕時計端末間で送受信される通信履歴を収集してPC画面上に表示できます。
またcsv形式のデータとして保存することができます。

●必要な機器等

PC (Windows10・64bit)、データ転送器、送信器、中継器 (使用している場合)、腕時計端末、PCとデータ転送器を接続するUSBケーブル (データ転送器側はミニBコネクタ)



必ずご確認ください

- データ転送ソフトとデータ転送器を用いて、送信器や腕時計端末がPCと接続されている間に行われる通信履歴のみを収集できます。
“通信履歴が必要なときにだけデータ転送ソフトとデータ転送器を用いて、遡って過去の情報を収集・保存する”という使い方はできません。
- データ転送器のCh (チャンネル) は、接続する送信器等と同じになるようあらかじめ設定ソフト上で設定してください (→P8, P9)。
異なるChに設定された機器の通信履歴は収集できません。また、中継器の送受信履歴は収集されません。
- ご利用の環境によっては、電波ノイズ等により文字化けが起こる場合があります。

■データ転送ソフトのインストール

●インストール手順

- インストールCDをPCのCDドライブにセットします。
- エクスプローラーからCDドライブ内の「YoBELL_Watch_DATATRANSFER.exe」を任意のフォルダにコピーしてください。
(設定ソフトをインストールしたフォルダ内にコピーすることを推奨します。)
- インストールは完了となります。本ソフトは任意のフォルダへコピー後、すぐに使用することができます。※ショートカットは自動生成されません。

●PCとデータ転送器の接続方法

- USBケーブルで接続してから、データ転送器の電源を入れてください。
- Windowsのデバイスマネージャー内「ポート (COMとLPT)」をダブルクリックしてCOM番号を確認してください。
「USB Serial Port」という表示の右端に示されている (COM_) がCOM番号です。
データ転送ソフトとデータ転送器の接続時に必要になります。

■使用方法

【事前設定】

- データ転送器をUSBにてPCと接続して電源を入れる。
インストールしたデータ転送ソフト
(YoBELL_Watch_DATATRANSFER.exe) をダブルクリックして起動する。

- 「設定」タブをクリック。

注意: このとき1行目 (全員 4095) と2行目 (送信器 4082) は変更しないでください。通信履歴収集に必要な内容です。

- 履歴収集時に表示される各機器の名称の登録※1を行います。

送信器の登録方法

- 名称空欄に接続したい送信器の名称を入力。
- ⊙マークをクリックしてから送信器のボタン1またはボタン2を押す。
- RID欄に数字が表示されれば登録成功です。

腕時計端末の登録方法

- 名称空欄に接続したい送信器の名称を入力。
- ⊙マークをクリックしてから○ボタンを長押しする。
- RID欄に数字※2が表示されれば登録成功です。

※1 設定ソフトで入力した名称は反映されません。

名称登録をせずに履歴収集を開始すると履歴内の発信者や受信者の欄に機器固有の数字 (RID) が表示されます。

※2 腕時計端末のバージョン確認画面 (→P7) で、その腕時計端末のRIDを確認することができます。

▼データ転送ソフト画面 (設定タブ)

TRUSCO YoBELLWatchデータ転送V1000

電文 設定 ② ⑨

設定ソフト起動 ⑪ ⚙️ ⑩

送受信者名設定

変更しないでください

名称	RID
全員	4095
送信器	4082
設備A	3001
Aさん	1
Bさん	2

③ ※初回起動時は空欄

入力 クリック RIDを表示させる

【通信履歴の収集】※この段階では保存は行われません。

- ④「電文」タブをクリック。
- ⑤☑をクリックして接続しているデータ転送器のCOM番号を選択。
- ⑥「接続」をクリックして「接続中」に切り替える。「接続中」の間、履歴収集しつづけて「履歴」欄に表示されます。

【通信履歴の保存】

- ⑦「履歴保存」をクリックして「履歴保存中」に切り替える。「履歴保存中」の間、収集した履歴情報を上書き保存し続けます。
通信履歴は“Dispyymmdd.csv”という命名規則で保存されます。
例：2021年5月15日に保存した場合、Disp210515.csv となります。
日を跨いで保存を続けた場合は Disp210516.csv が自動的に作成されます。
保存される場所は、インストールしたデータ転送ソフト(YoBELL_Watch_DATATRANSFER.exe)と同じフォルダです。

【ソフトの閉じ方】

- ⑧ソフトはウィンドウ右上端の × をクリックして閉じてください。このとき
 - ・⑥を「接続中」状態でソフトを閉じて、再度ソフトを起動したときは「接続中」のままになっています※3。
ソフトが立ち上がると同時に、自動的に履歴収集を再開します。
 - ・上記に加えて⑦を「履歴保存中」状態でソフトを閉じて、再度ソフトを起動したときは「履歴保存中」のままになります。
ソフトが立ち上がると同時に、自動的に履歴保存を再開します※4。

※3 PCまたはデータ転送器の電源を一度切った場合には、COM番号を選択しなおした後(⑤)、「接続中」に切り替える必要があります。

※4 ※3の場合「接続中」に切り替えるまでは、⑦が「履歴保存中」状態でも通信履歴が収集されないため保存も行われません。

▼データ転送ソフト画面(電文タブ)

呼出時刻	応答 経過(秒)	発信元	受信者	メッセージ
14:22:03		Eさん	送信器	
14:21:56	14:23:03 67	Eさん	Cさん	Eさん 異常
14:21:42		Dさん	送信器	
14:21:30	14:21:43 13	Dさん	Cさん	Dさん 異常
14:21:03		設備A	Cさん	受信エラーが返信
14:21:03		Cさん		

【設定ソフトの起動方法】

データ転送ソフトから設定ソフト「YoBELL_Watch_SETUP.exe」を起動させるために初回のみ設定が必要です。

- ⑨「設定」タブをクリック。
- ⑩「設定ソフト起動」右の歯車マークをクリック、「YoBELL_Watch_SETUP.exe」を選択して「開く」。
- ⑪2回目以降の起動は「設定ソフト起動」から行えます。

保証書

〈保証規定〉

- お買い上げ後保証期間内に、正常なご使用状態で故障した場合には本保証書をご提示のうえ、お買い求め販売店に修理をご依頼ください。無料で修理、調整いたします。
- 次のような場合には、保証期間内でも有償修理になります。
 - a.誤ったご使用、不注意、落下、不当な修理、分解、改造、天災、地変等による故障または損傷。
 - b.ご使用上に生じる外観の変化。
 - c.本保証書に販売店およびお買い上げ年月日の記載が無い場合。また、字句を書き換えられた場合。
 - d.本保証書のご提示が無い場合。
- 本保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。この保証書によって、保証書を発行している者およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

本保証書記載内容によりこの製品を保証します。

対象部品: **腕時計型端末・送信器・データ転送器・中継器・充電器・平型マイクセンサー・光センサー**
保証期間: **お買い上げ日より1年以内**

本保証書をご持参・ご提示のうえ、お買い求めの販売店にご相談ください。

品番	TSW-2125 / TSW-P125 / TSW-T125 / TSW-C125 / TSC-1140 / HMC-3 / HSC-1.8
お買い上げ年月日	
お客様	お名前 様
	ご住所
	電話番号
販売店	店名・住所・電話番号

販売店様へ お手数でも、必ずご記入のうえお客様へお渡しください。

弊社では、常により良い製品を目指し、仕様・デザイン・生産技術等、あらゆる面でさまざまな改良を積み重ねております。つきましては、この取扱説明書に記載している仕様は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

総発売元 **トラスコ中山株式会社** お客様相談室 ☎0120-509-849
〒105-0004 東京都港区新橋4丁目28番1号 E-mail: techno.center@trusco.co.jp

ご不明な点は、お買い上げの販売店が弊社お客様相談室にご相談ください。※この取扱説明書の無断転用を禁じます。

MADE IN JAPAN <http://www.orange-book.com/>

PD 2024/07